

5月に大成功に終わった善光寺御開帳から約1ヶ月が経過し、御開帳の余韻も感じている中、7月3日、2015年度総会開催後、「門前町文化講座in善光寺」と題して、一般公開される中、基調講演が善光寺事務局三階の講堂にて開催されました。

今回は、当会の推進委員であられ、長野郷土史研究会副会長の小林玲子氏を講師にお招きし、「絵解きからみた善光寺参りの昔と今」をテーマに、善光寺の絵解き講演を行って頂きました。

小林氏は1952年、長野市生まれ。1993



小林玲子氏

年に途絶えていた「善光寺如来絵伝」の絵解きを復興。その後、長野県内はもとより全国各地に向いて絵解き口演を行い、普及に努められました。小林一郎氏と作成した台本による絵解き演目は、「釈迦涅槃図」「当麻曼荼羅」「熊野観心十界曼荼羅」など多数存在、『絵解き釈迦涅槃図』などのDVDは4本出版されています。また、共著『伝説の寺、善光寺』（光竜堂）があり、2014年からは、新たに制作した「善光寺参り絵解き図」の絵解きを行い、民間の立場で絵解きの継承と普及に取り組んでおられます。

絵解きとは、長野に定着している文化の一つであり、絵の説明を物語に沿ってお話することを言います。善光寺は千年も前から日本中の参拝者を迎えてきておりますが、今回、昔から善光寺を訪れてきた人々の思いや願いを伝える百話の絵解きを、本年、御開帳を訪れた参拝者の話も交え、七五調でお話ししながら、来場者に善光寺の誇り、身



近さ、そして大切さを伝え、感じて頂きました。

最後に、絵解きの昔と今を踏まえ、ファンリテーターの松橋副幹事長と共に、今後の当会が歩む方向などを、分かり易くお伝えする機会ともなりました。終了後は、参加者の方々全員に、当会のポスターやチラシをお持ち帰り頂きました。

事前に信毎や市民新聞などで、広告を掲載した効果もあり、会場は、定員150名の中、ほぼ満席という状態。絵解きはもとより、当然、御開帳後という効果もあったものの、善光寺に対する関心の高さを改めて再認識できる良いきっかけとなりました。

すすめる会会員一覧

すすめる会は、ご覧の会員の皆様方からの年会費によって活動しております。

朝日病院	信毎文化事業財団	長野県信用組合	長野放送	マルイチ産商
インフォメーションネットワークコミュニティ	鈴木土地	長野県信用農業協同組合連合会	長野ユネスコ協会	萬住亭
植木商店	炭平コーポレーション	長野県芸術文化協会	長野ロータリークラブ	ミヤテック
エーシーエ設計	駿専青木商店	長野県中小企業団体中央会長野支部	中村建築研究所	宮本忠長建築設計事務所
FMぜんこうじ	善光寺木遣り保存会	長野市設計協会	中山法律事務所	元善町
エムケー精工	善光寺事務局	長野市電設業協会	夏目	山口司法書士事務所
おらが園	善光寺まちづくり会議	長野酒造協会	Nikki Fron	八幡屋磯五郎
カシヨ	第一建設工業長野支店	長野商工会議所	日新電機製作所	
北野建設	タカチホ	// 篠ノ井支部	日本旅行 長野支店	
倉田博光会計事務所	高野総本店	// 松代支部	野村証券 長野支店	
国際ソブチミスト長野	滝澤無線	長野商店会連合会	八十二銀行	
国際ソブチミスト長野みすず	長印	長野信用金庫	八十二文化財団	
小林歯科医院	テレビ信州	長野青年会議所	福澤商店	
西條被服	電算	長野設計協同組合	藤森建設工業	
信濃毎日新聞社	長野朝日放送	長野通運	淵之坊	
シューマート	長野観光コンベンションビューロー	長野都市経営研究所	ベイクックコーポレーション	
信越定期自動車	長野北ロータリークラブ	長野トヨタ自動車	ホテル国際21	
信越放送	長野県経営者協会	長野トヨペット	増田商会	
信州製袋	長野県建築士事務所協会	長野西ロータリークラブ	松澤工業	
信防エディックス	長野県社会保険労務士会	長野東ロータリークラブ	松田・南信	

(50音順)

平成28年9月現在 ※表記等で間違いや訂正などございましたら事務局までご連絡下さい。

編集後記

善光寺御開帳に合わせ当会のポスターを各所に貼って頂いた事と、新たに日本遺産登録に向けた取り組みを開始した事で、会の認知向上と、世界遺産登録に向けた機運を高める年度となりました。ポスターの掲示や、チラシを置いて頂きました会員各位をはじめ、企業様や店舗様には、心より感謝申し上げます。



NEWS LETTER

善光寺の世界遺産登録をすすめる会 事務局 ■ 公益社団法人 長野青年会議所 内
Tel : 026-228-3260
http://www.sekaisan-zenkoji.jp/

日本遺産認定に向けて ~ワーキンググループの活動が始まる~

日本遺産とは、地域に点在する歴史的な建造物や伝統芸能といった文化財をパッケージ化し、歴史的な経緯や伝承を踏まえた物語(ストーリー)に結びつけて認定する新しい国の制度です。ストーリーを構成する文化財群を総合的に整備、活用し、世界に戦略的に発信することによって、地域活性化を図るものです。

文化庁では2020年の東京オリンピックまでに概ね100件を認定する予定で、認定されると案内板設置やガイド育成などの財政

支援があります。

これまで文化庁は、平成25年度に18件、平成26年度に19件の計37件を認定しました。善光寺については平成26年度に長野市教育委員会文化財課を中心に、県教委の助言を受けながらワーキンググループを発足。ストーリーを作成し、申請を行いました。残念ながら選外となりましたが、今年度の認定に向けてストーリー案を見直し、再申請を予定しています。善光寺の世界遺産登録をすすめる会では、ストーリーの作成に

向けて長野市と協力しながら活動を進めていきます。



©善光寺

訃報 宮本忠長副会長ご逝去



2001年の善光寺の世界遺産登録をすすめる会の発足より、精力的に活動してきた副会長であり、推進会議の議長であった宮本忠長氏が去る2月25日、88歳でご逝去されました。

宮本氏は建築家として長野市を拠点に全国で数多くの建築作品を手掛けられ、特に小布施町の「まちづくり」では、国内の各界より高い評価を受け、優れた建築作品を世に輩出した功績が認められ、日本芸術院賞をはじめとする数多くの賞を受賞されました。

善光寺の顧問に就任して以来、善光寺を中心とする門前町・長野市の将来を見据え

た都市構想を立案するなど、ポスト長野五輪以降の長野市の「まちづくり」を検討されてきました。

すすめる会では、善光寺と門前町の文化的価値をどのようにして後世に伝え、国内外にアピールしていくかなどを長きにわたりライフワークとして検討されてきました。

志半ばでその生涯に幕を閉じてしまわれたことは大変残念ではありますが、会員一同が想いを受け継ぎ、今後も活動を継続してゆく所存です。

心よりご冥福をお祈り申し上げます。

日本遺産フォーラムへの参加

2015年6月29日

平成27年6月29日に東京国立博物館平成館にて日本遺産フォーラムが開催されました。フォーラムでは、平成26年度に日本遺産に認定された18市町村を対象とした認定式がありました。その後、一般公開のパネルディスカッション及び認定市町村のブース出展によるPRがあり、日本遺産申請の中心組織である長野市文化財課、アドバイザーである長野県教育委員会そしてすすめる会からもワーキンググループのメンバーと参加しました。

パネルディスカッション ～認定ストーリーの魅力と地域活性化への期待～

【挨拶】 文部科学大臣政務官 赤池誠章氏

【パネリスト】 稲葉信子氏(筑波大学大学院教授)・里中満智子氏(漫画家)・下村彰男氏(東京大学大学院教授)・

丁野朗氏((公社)日本観光振興協会常務理事)・デービッド・アトキンソン氏(小西美術工芸社社長)

パネリストは、日本遺産認定の選考をされた様々な立場の有識者で行われました。日本遺産は、名所や文化財の紹介をするものではなく、地域や地域間にある文化や歴史を基にした魅力あるアイデンティティを認定する事により、魅力の掘り起こしを通じた地域の活性化をするものである事を述べられ

ました。日本遺産に認定された内容を読むと気付かされますが、日本人にとっては普通に感じたり、特別に感じないタイトルや地域もあります。しかしその内容は、知らない土地に行き滞在する事で、日本の文化や歴史、そして情緒を感じ取れる内容であります。日本遺産は特にインバウンドを意識され



ており、観る(みる)事と知る事と同時に、体験・体感等を通じ五感で日本特有の素晴らしさを感じられる内容が必要である事を述べられました。既に知名度のある「善光寺」に対し、広い地域や内容で日本遺産認定のストーリーを作成する事が認定の鍵になると感じました。



日本遺産認定市町村PRブースの見学

各ブースが地域性を活かした装飾や映像の活用、ゆるキャラの参加、特産品やパンフレットの無料配布等をおこない各認定地域の個性溢れるブースでありました。ブースでヒアリングを行ったところ、配布物を入れる紙袋やパンフレットを入れるクリアファイルなど、認定に伴い新規に作成したところが多く見受けられました。



日本遺産認定リスト

認定No.	都道府県	申請者 (○印は代表自治体)	ストーリーのタイトル
平成27年4月24日			
1	茨城県・栃木県・岡山県・大分県	○水戸市(茨城県)・足利市(栃木県)・備前市(岡山県)・日田市(大分県)	近世日本の教育遺産群—学ぶ心・礼節の本源—
2	群馬県	○群馬県(桐生市、甘楽町、中之条町、片品村)	かかあ天下—ぐまの絹物語—
3	富山県	高岡市	加賀前田家ゆかりの町民文化が花咲くまち高岡一人、技、心—
4	石川県	○石川県(七尾市、輪島市、珠洲市、志賀町、穴水町、能登町)	灯(あかり)舞う半島 能登～熱狂のキコ祭り～
5	福井県	○福井県(小浜市、若狭町)	海と都をつなぐ若狭の往来文化遺産群～御食国(みけつくに)若狭と鯖街道～
6	岐阜県	岐阜市	「信長公のおもてなし」が息づく戦国城下町・岐阜
7	三重県	明和町	祈る皇女斎王のみやこ 斎宮
8	滋賀県	○滋賀県(大津市、彦根市、近江八幡市、高島市、東近江市、米原市、長浜市)	琵琶湖とその水辺景観—祈りと暮らしの水遺産
9	京都府	○京都府(宇治市、城陽市、八幡市、京田辺市、木津川市、久御山町、井手町、宇治田原町、笠置町、和束町、精華町、南山城村)	日本茶800年の歴史散歩
10	兵庫県	篠山市	丹波篠山 デカンショ節—民謡に乗せて歌い継ぐふるさとの記憶
11	奈良県	○明日香村・橿原市・高取町	「日本国創成のとき—飛鳥を翔(か)けた女性たち—」
12	鳥取県	三朝町	六根清浄と六感治癒の地～日本一危ない国宝鑑賞と世界屈指のラドン泉～
13	島根県	津和野町	津和野今昔～百景園を歩く～
14	広島県	尾道市	尾道水道が結いだ中世からの箱庭的都市
15	愛媛県・高知県・徳島県・香川県	○愛媛県・高知県・徳島県・香川県(各県内57市町村)	「四国遍路」～回遊型巡礼路と独自の巡礼文化～
16	福岡県	太宰府市	古代日本の「西の都」～東アジアとの交流拠点～
17	長崎県	○長崎県(対馬市、壱岐市、五島市、新上五島町)	国境の島 壱岐・対馬・五島～古代からの架け橋～
18	熊本県	○人吉市・錦町・あさぎり町・多良木町・湯前町・水上村・相良村・五木村・山江村・球磨村	相良700年が生んだ保守と進取の文化～日本でもっとも豊かな隠れ里—人吉琢磨～
平成28年4月25日			
19	宮城県	○宮城県(仙台市、塩竈市、多賀城市、松島町)	政宗が育んだ「伊達」な文化
20	山形県	○山形県(鶴岡市、西川町、庄内町)	自然と信仰が息づく「生まれかわりの旅」～樹齢300年を超える杉並木につつまれた2,446段の石段から始まる出羽三山～
21	福島県	○会津若松市・喜多方市・南会津町・下郷町・楡枝村・只見町・北塩原村・西会津町・磐梯町・猪苗代町・会津坂下町・湯川村・柳津町・会津美里町・三島町・金山町・昭和村	会津の三十三観音めぐり～巡礼を通して観た往時の会津の文化～
22	福島県	○郡山市・猪苗代町	未来を拓いた「一本の水路」—久保利通「最期の夢」と開拓者の軌跡 郡山・猪苗代—
23	千葉県	○千葉県(佐倉市、成田市、香取市、銚子市)	「北総四都市江戸紀行—江戸を感じる北総の町並み—」佐倉・成田・佐原・銚子：百万都市江戸を支えた江戸近郊の四つの代表的町並み群—
24	神奈川県	伊勢原市	江戸庶民の信仰と行楽の地—巨大な木太刀を担いで「大山詣り」～
25	神奈川県	鎌倉市	「いざ、鎌倉」～歴史と文化が描くモザイク画のまちへ～
26	新潟県	○三条市・新潟市・長岡市・十日町市・津南町	「なんだ、コレは」信濃川流域の火焔型土器と雪国の文化
27	石川県	小松市	「珠玉と歩む物語」小松—時の流れの中で磨き上げた石の文化～
28	長野県	○南木曾町・大桑村・上松町・木曾町・木祖村・王滝村・塩尻市	木曾路はすべて山の中—山を守り 山に生きる～
29	岐阜県	高山市	飛騨匠の技・こころ—木とともに、今に引き継ぐ1300年—
30	兵庫県	○淡路市・洲本市・南あわじ市	「古事記」の冒頭を飾る「国生みの島・淡路」～古代国家を支えた海人の営み～
31	奈良県	○吉野町・下市町・黒滝村・天川村・下北山村・上北山村・川上村・東吉野村	森に育まれ、森を育んだ人々の暮らしとこころ～美林連なる造林発祥の地「吉野」～
32	和歌山県	○和歌山県(新宮市、那智勝浦町、太地町、串本町)	鯨とともに生きる
33	鳥取県	○大山町・伯耆町・江府町・米子市	地藏信仰が育んだ日本最大の大山牛馬市
34	島根県	○雲南市・安来市・奥出雲町	出雲國たたら風土記～鉄づくり千年が生んだ物語～
35	広島県・神奈川県・長崎県・京都府	○呉市(広島県)・横須賀市(神奈川県)・佐世保市(長崎県)・舞鶴市(京都府)	鎮守府 横須賀・呉・佐世保・舞鶴～日本近代化の躍動を体感できるまち～
36	愛媛県・広島県	○今治市(愛媛県)・尾道市(広島県)	「日本最大の海賊」の本拠地・芸予諸島—よみがえる村上海賊「Murakami KAIZOKU」の記憶—
37	佐賀県・長崎県	○佐賀県(唐津市、伊万里市、武雄市、嬉野市、有田町) 長崎県(佐世保市、平戸市、波佐見町)	日本磁器のふるさと 肥前～百花繚乱のやきもの散歩～